

研究所だより

第377号
2017年 7月20日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3015



“あした浜辺をさまよえば 昔のことぞ忍ばるる
風の音よ 雲のさまよ 寄する波も 貝の色も”
『浜辺の歌』 唱歌・歌曲 (1916年)



～梅雨明け！ 夏本番！～

7月23日(日)は「大暑」。(23日から立秋までの期間を大暑と呼ぶ場合もあります。)大暑は書いて字の如く、一年で最も暑くなる時期を指します。梅雨明けの時期で夏の土用もこの頃。いよいよ本格的な夏の到来です。

大暑の日は、天ぷらの日として、土用の丑の日、8月29日の焼き肉の日と並んで「夏バテ防止三大食べ物記念日」とされています。どうして天ぷらなのかと言うと「暑さに負けないように栄養豊富な天ぷらを食べて、夏を乗り切ろう」という意味があるそうです。また、大暑をはじめとした夏の暑さに打ち勝つためには「う」のつく食べ物を摂るとよいとも言われています。

- ①ウナギ；夏バテ防止に効果があるビタミンB1、Aを豊富に含む
- ②梅干し；疲労回復に役立つクエン酸が効果を発揮
- ③うどん；夏バテ予防・食欲増進

また、この季節、ニュースや天気予報で「夏日」という言葉をよく耳にすると思います。これは暑さの指標に使われる言葉で、一日の最高気温によって使い分けられています。

(夏日：25℃以上、真夏日：30℃以上、猛暑日：35℃以上)

☆第67次土佐清水市教育研究集会一日教研のご案内☆

- 期日：8月22日(火)
- 会場：土佐清水市立中央公民館
- 日程：

受付	8:30～	8:40
模擬授業	8:40～	9:25
(菊池 省三 先生 清水小6年生)		
開会行事	9:35～	9:55
講演	10:00～	11:30
(質疑応答)	11:30～	12:00



- 講演 —
演題『自己肯定感を高める学級づくり』
講師 菊池 省三 先生 (教育実践研究者)
- 部会研修 13:30～16:45
(各会場)

土佐清水市教育研究集会(市教研)は、67回という歴史を刻んできました。子ども達を中心に据えて教育実践の有り様を模索し、検証する場として先人達が長い歴史の中で右往左往しながら築き上げてきたものであり、今日に引き継がれています。教職員自らが、問題意識、課題意識を持ち、自主的・主体的に自らの力量、資質向上を図るために教研集会に臨んできました。もう一度私たちは先人達が築き上げてきた教育研究集会の意義、意図するものを再考し、更に発展、向上させていきたいものです。

新学習指導要領について (「指導と評価」7月号より) —改訂の基本的な考え方と3つのポイント—

合田哲雄 (文部科学省初等中等教育局教育課程課長)

1 今回の改訂と社会の構造的変化

学習指導要領はおおむね10年に1度改訂されているが、前回の平成20年改訂においては、「ゆとり」か「詰め込み」かの2項対立を乗り越え、各教科の学びの体系性を回復するとともに言語活動を充実させることにより、習慣・活用・探究の学習サイクルの確立が図られた。昨年末に公表された最新の国際的な学力調査(PISA,TIMSS)は、我が国の義務教育で学ぶ子どもたちが国際比較においても高い学習成果をあげていることを明らかにしている。このような先生方、子どもたち、保護者の取組の成果を踏まえ、今回の改訂は、前改訂の延長線上に、子どもたちの知識の理解の質をいかに高めるかに真正面から取り組むものである。(略)

2 子どもたちの知識の理解の質を高めるための3つのポイント

今回の改訂は次の3つのポイントを重視している。

第1は、教科等を①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等、の3つの柱で再整理したことである。教育課程を資質・能力やコンピテンシーで捉える世界的な潮流のなかで、今回の改訂においては、コンピテンシーの観点からトップダウンで教科等の在り方を決めていくのではなく、我が国の学校教育の130年にわたる豊かな蓄積を捉え直して、各教科がこれまで育成してきた資質・能力を3つの柱で再整理し、子どもたちにどのような力を育むのかについての教育課程を通じた全体像を明らかにした。(略)

第2は、「主体的・対話的で深い学び」の観点から、これまでの教育実践の蓄積を踏まえて授業を見直し、改善することであり、学習指導要領にこの点を新たに規定した。これは、小・中学校においてこれまでと全く異なる指導方法を導入しなければならぬと浮き足立つのではなく、語彙を表現に活かす、社会事象について資料に基づき考える、日常生活の文脈で数字を活用する、観察・実験を通じて科学的な根拠をもって思考するといったこれまでの教育実践の蓄積を若手教員にもしっかりと引き継ぎつつ、単元や題材といった内容や時間のまとまりを見通して授業を工夫・改善することを求めるものである。今回の改訂においては、当然のことながら具体的な指導方法を学習指導要領に規定することはしていない。授業改善の視点としての「主体的・対話的で深い学び」は優れた教育実践の普遍的な要素であり、いわば当たり前のことだろう。しかし、教員の代替わりで急速な勢いでベテランの先生が退職され若手の先生が増えているなか、「何のための学びか」の原点とともに、この当たり前なことを確実に引き継ぎ、発展させることが我が国の教育界にとって大きな課題であり、改訂においてはその対応を重視している。

(略)

第3は、カリキュラム・マネジメントの確立である。教科等横断的な学習や単元などの内容や時間のまとまりのなかで習得・活用・探究のバランスを工夫するためには、学校全体として、教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保、実施状況に基づく改善といったカリキュラム・マネジメントが不可欠であり、学習指導要領においてこの点を明記した。

3 国語を中心とした言語能力の確実な育成

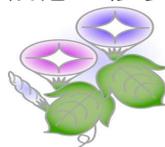
このような3つのポイントを踏まえ、国語を中心とした言語能力の確実な育成は今回の改訂においても重視している。特に、情報環境や家庭環境の変化になかで子どもたちの語彙の質と量の違いの差が生じているのではないかと、教科書の文章を読み解けていない子どもも少なくないのではないかとといった昨年の12月の答申の指摘を深刻に受け止め、内容の把握、精査・解釈、考えの形成、表現といった言語活動の過程を意識して、国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」といった活動領域の内容と構造を再構築した。また、小学校低学年から、①発達の段階に応じた語彙の確実な習得、②意見と根拠、具体と抽象を押さえて考えるといった正確な理解や表現のための情報の扱い方を、国語の「知識・技能」として位置付けるとともに、学習の基盤としての各教科等における言語活動の充実を図ることとしている。このような改善で重視しているのは、スマートフォンやSNSなどで交わされる短い文章ではなく、教科書などに掲載されているまとまった筋の通った文章を読みながら、頭のなかで、文中で指摘されている複数の概念に基づいてベン図を描くなどして文章を構造的に理解する力の育成である。

4 学習評価に関する検討の観点

指導要録や評価については、学力の3要素が学校教育法に規定されたにもかかわらず評価は4観点のままであり、わかりづらいつのかねてからの指摘も踏まえ、答申において学力の3要素や3つの資質・能力に沿って、「知識・技能」と「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つで評価するという方針が示されている。「知識・技能」については、一つ一つの個別の知識を再生可能なように記憶しているかにとどまらず、概念的に理解しているかという観点がこれまでに以上に重視されることとなる。「思考・判断・表現」は子どもたちが取り組んだレポート、小論文、表現などをしっかり受け止め評価することも重要となる。「主体的に学習に取り組む態度」は子どもたちがこれらの活動を通じていかに主体的に取り組んだのかを見取ることが求められる。知識の理解の質を高めるといった今回の改訂の趣旨を踏まえ、さらに専門的な検討を行う予定である。

5 条件整備と業務改善

本年4月に公表した平成28年度の教員勤務実態調査は、教員の勤務について看過できない大変深刻な実態を示している。このような状況を踏まえつつ、新学習指導要領を全面実施するに当たっては、条件整備や情報発信が不可欠であり、文部科学省として不転の決意で取り組むこととしている。さらに、教員勤務実態調査を受け、教員の勤務時間の短縮に向けた具体的かつ実効性のある取組を早急に進めるため、中央教育審議会において、教員の働き方改革に資する方策についての総合的な検討をお願いし、結論が出たものから逐次、実行段階に移すこととしている。



夏季休業中の行事予定

①ICT活用講座

日時：8月 8日（火）15：00～16：45

会場：教育センター

内容：「授業の中でICTを活用しよう」

- ・書画カメラ、パソコン、タブレット、スマホなどを活用方法の紹介と実践
- ・授業に役立つ学習サイトの紹介

②第3回教研推進委員会（準備会）

日時：8月21日（月）15：30～16：45

会場：中央公民館

内容：「一日教研について最終確認、会場準備他」

③第67次土佐清水市教育研究集会一日教研

日時：8月22日（火）8：30～16：45

会場：中央公民館、各会場

④第3回あすなろネットワーク

日時：8月29日（火）15：30～

会場：教育センター

内容：「～支援・関わりの連携について～」

講師：NPO法人若者就労支援センターつながるねっと

代表理事・相談員 小笠原 悠さん



◇平和・防災学習DVDの紹介！◇

27年度、28年度購入の教材です。夏季休業中の平和・防災学習にぜひご利用ください。その他にも、教科、特別支援教育、環境教育などの図書やDVD・ビデオも所蔵していますので、研究所のホームページをご覧ください。

〔平和学習編〕

- ・「はとよ ひろしまの空を」（21分）
- ・「ヒロシマに一番電車が走った」（32分）
- ・「夏服の少女たち」（34分）
- ・「対馬丸ーさよなら沖縄ー」（75分）
- ・「消えさらぬ傷のあと 火の海・大阪」（20分）
- ・「地雷を踏んだ象『モータラの物語』」（24分）
- ・「にんげんをかえせ」（20分）
- ・「さとうきび畑」（11分）
- ・「地球の風ぐるま ヒロシマ・ナガサキに学ぶ」（32分）
- ・「予言」（42分）
- ・「戦争ー子どもたちの遺言」（53分）
- ・「増大する放射能」（22分）

〔防災学習編〕

- ・「地震！！あなたはどうする」（21分）
- ・「小学生向け しらべてみよう放射線」（16分）
- ・「命を守れますか？ 地しんのとき つ波のとき」（21分）
- ・「どう守る？ 自分の命 東日本大震災から学んだこと」（22分）
- ・「地震への備えが命を守る」（21分）

